

【様式 1 - 1】

島牧村橋梁長寿命化修繕計画

平成28年12月
(令和8年7月改定)

島牧村 施設課

島牧村橋梁長寿命化修繕計画

§ 1. 計画全体の方針

1. 老朽化対策における基本方針

(1) 橋梁長寿命化修繕計画の目的

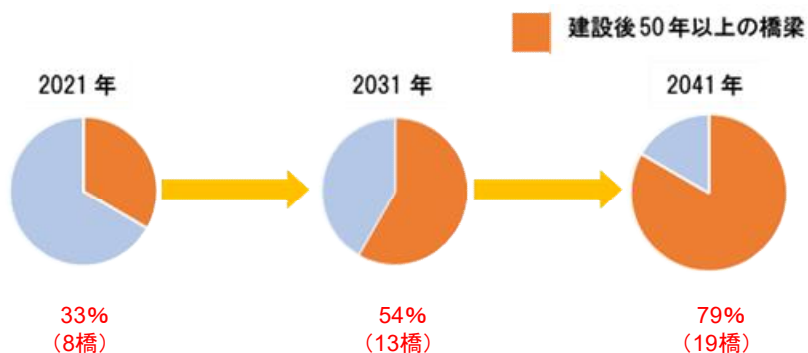
【背景】

- ◆島牧村が管理する道路橋は、現在24橋あり、このうち建設後50年を経過する高齢化橋梁は、10橋で全体の42%を占めます。
- ◆20年後、この割合がおおよそ79%を占め、急速に高齢化橋梁が増大します。
- ◆今後、増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠です。

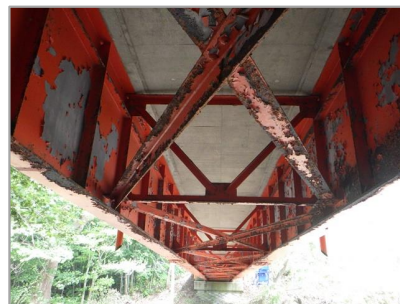
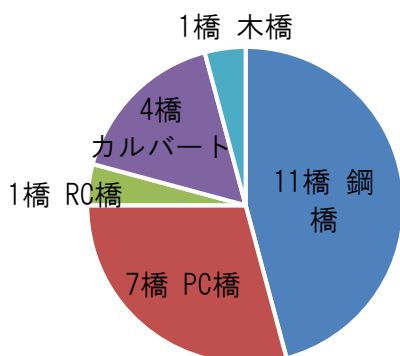
【目的】

- ◆定期点検による橋梁の状態の把握、予防的な修繕および計画的な架替えを着実に進め、橋梁の長寿命化と橋梁の修繕・架替えに係る費用を縮減します。
- ◆重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保していくために長寿命化修繕計画を策定します。

建設後50年以上の橋梁箇所数の増加



橋種別の橋梁数(R8年現在)



大平大橋(橋長35.4m)
昭和45年供用開始(56歳)

(2) 対象橋梁

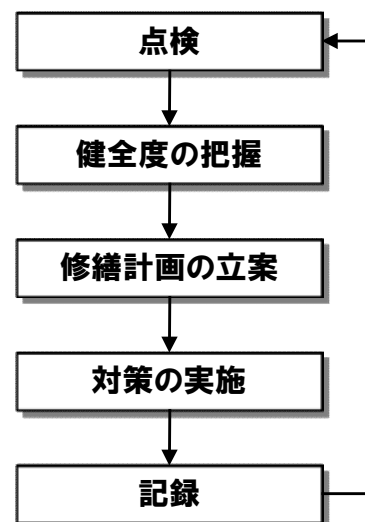
長寿命化修繕計画の対象とする橋梁は、島牧村が管理する24橋とする。

	1級村道	2級村道	その他	合計
全管理橋梁	11	8	5	24
うち計画の対象橋梁	11	8	5	24

長寿命化修繕計画の計画期間は以下のとおりとし、定期点検結果を受け随時更新・修正を行う。

(3) 長寿命化修繕計画の基本的な方針

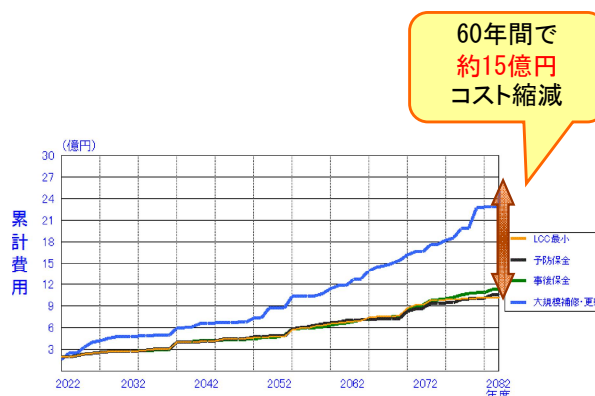
- ☆点検マニュアルに基づき、専門家による**橋梁点検**を実施し、**橋の健全度を把握**します。橋梁点検は、5年ごとに実施する予定です。
- ☆それぞれの橋において、点検により把握した健全度に基づき**最適な修繕計画(低コストかつ長寿命化を図れる計画)**を立案します。
- ☆全対象橋梁において、**長寿命化修繕計画**を策定し、計画に基づいて**順次、修繕**を実施します。
- ☆点検および修繕した結果は、**橋梁台帳および点検調書**等に記入し**電子データ**として保存します。



橋の維持管理の流れ

(4) 長寿命化修繕計画の効果

- ☆今後60年の修繕・架替え事業費（**予防保全型、大規模補修・更新型**）を試算した結果、**予防保全型の累計は、約10億円、大規模補修・更新型の累計は25億円**となり、**予防保全型の維持修繕を実施することにより約15億円のコスト縮減効果**が期待できます。



2. 新技術の活用方針

◆村内の道路橋の点検や修繕の実施に当たっては、新技術情報システム（NETIS）や点検支援技術性能カタログなどを参考に、新技術等の活用を検討し、事業の効率化やコスト縮減を図ります。

主な対応は以下の通りとします。

- ①定期点検の実施に当たっては、NETISや点検支援技術性能カタログの活用を検討し、橋梁状況・点検期間・コスト縮減の観点から最適な点検実施方法を選定します。
- ②修繕工事の実施に当たっては、新技術情報提供システム（NETIS）等の新材料・新工法の活用を検討します。

<新技術一例>



3. 費用の縮減に関する具体的な方針

◆今後の老朽化対策に必要となる費用の縮減

- ・修繕工事および定期点検においては、NETISや点検支援技術性能カタログを活用し、工事の高度化・効率化・工期の短縮化により、コスト縮減を図ります。

◆撤去・機能縮小などによる費用の縮減

- ・社会情勢や路線の利用状況の変化により、村道路線の統廃合が可能となる場合は、当該橋梁の集約・撤去を進め、コスト縮減を図ります。
- ・村内では、令和2年度から令和3年度に炭たき橋および大平橋の撤去を実施済みです。今後の統廃合についても、利用頻度を考慮し、利用住民等と調整しながら選定します。

§ 2. 短期的な数値目標およびそのコスト縮減効果

1. 新技術等の活用、費用縮減

- ◆管理する24橋のうち、約1割の橋梁で新技術の活用を目指します。
特に過去の定期点検で橋梁点検車等を使用した橋梁については、新技術の活用を重点的に検討し、令和15年度までに約1百万円のコスト縮減を目指します。
修繕工事においても、全ての橋梁で設計段階から新技術の活用を含めた比較検討を行い、コスト縮減を目指します。

2. 集約化・撤去

- ◆迂回路の有無、利用状況及び管理状況等を踏まえて、管理する24橋のうち、1橋程度の集約化・撤去を検討し、令和15年度までに約1百万円のコスト縮減を目指します。

§ 3. 個別橋梁事項

橋梁諸元・点検結果・点検計画及び修繕計画は別紙【島牧村橋梁長寿命化修繕計画一覧表】の通りです。

§ 4. 計画策定担当部署

計画策定担当部署



島牧村役場 施設課 Tel:0136-75-6272

島牧村橋梁長寿命化修繕計画一覧表

施設諸元				点検結果及び点検計画			修繕計画			
橋梁名	路線名	架設年度	橋長 (m)	点検年度	判定 区分	次回 点検年度	対策内容	着手 (予定)年度	完了 (予定)年度	全体概算事業費 (百万円)
新甫橋	村道東瀬棚通線	1970	11.4	2025	Ⅱ	2030				
九助橋	村道賀老通線	1982	34	2025	Ⅱ	2030				
南雲橋	村道賀老通線	1984	3.1	2025	Ⅰ	2030				
弁慶橋	村道賀老通線	1988	57.5	2025	Ⅰ	2030				
長谷橋	村道賀老通線	1988	3.35	2025	Ⅰ	2030				
泊橋	村道泊川通線	1967	4	2025	Ⅰ	2030				
折川橋	村道本目折川通線	2002	50.6	2025	Ⅱ	2030				
小川橋	村道本目折川通線	2003	33.4	2025	Ⅰ	2030				
本別橋	村道永豊泊通線	1981	16	2025	Ⅰ	2030				
ボロ狩場橋	村道狩場通線	1978	12.5	2025	Ⅱ	2030				
小田西橋	村道栄浜通線	2000	43.2	2025	Ⅰ	2030				
テルギシ橋	村道折川奥開墾通線	1967	4	2025	Ⅰ	2030				
熊の沢橋	村道折川奥開墾通線	1968	10.4	2025	Ⅰ	2030				
折川大橋	村道折川奥開墾通線	1968	35.5	2025	Ⅱ	2030				
大平大橋	村道上大平通線	1970	35.4	2025	Ⅱ	2030				
成田橋	村道小川通線	1967	3	2025	Ⅰ	2030				
小川橋	村道小川通線	1998	19.2	2025	Ⅰ	2030				
冷水橋	村道冷水通線	2024	43.4	2025	Ⅰ	2030				
上新甫橋	村道新甫川通線	1976	6.1	2025	Ⅱ	2030	上部工補修	2028	2030	30
中の川橋	村道中の川通線	1980	11.1	2025	Ⅱ	2030				
布門内橋	村道原歌学校通線	1983	20	2025	Ⅱ	2030				
賀老橋	村道賀老高原通線	1972	13.4	2025	Ⅱ	2030				
上千泊橋	村道賀老高原通線	1982	47	2025	Ⅰ	2030				
滝の沢橋	村道賀老高台通線	1974	6.3	2025	Ⅰ	2030				